

「ガバナンス経営と株主政策」

2011年11月30日
エーザイ株式会社
取締役 松居秀明

〔Ⅰ〕 はじめに

1. ガバナンスに関するマネジメント上の背景
2. 当社の業容の変化(欧米進出)
3. 企業風土の刷新
4. エーザイ・イノベーション(EI)コンセプト
5. 企業理念、定款へ

〔Ⅱ〕 ガバナンス経営

1. 経営体制の刷新
 - ・2000年6月 執行役員制度の導入と社外取締役の選任
コーポレートガバナンス委員会の設置
 - ・2001年3月 コーポレートガバナンスガイドライン制定
 - ・2003年6月 取締役会議長と代表取締役社長兼CEOの分離
 - ・2004年6月 委員会等設置会社に移行
 - ・2005年6月 取締役会議長を社外取締役に
2. 委員会設置会社へ移行
 - 1) 当初の狙い
 - 2) 委員会設置会社のメリット
 - 3) 運営で課題
 - 4) 日本のガバナンス経営に、当初求められたもの
 - 5) 情報の開示
 - 6) 機関投資家の認識、指摘事項

3. ガバナンス上のCFOの役割
 - 1) 企業経営のコーポレートガバナンス
 - 2) 業務執行上のガバナンス基軸
 - 3) CFOのエーザイ・イノベーション(EI)活動、事例紹介

4. 当社の株主構成とその変化
 - 1) 株主の変化と対応施策
 - 2) CFOの役割
 - 3) 企業の株主様に望むこと
 - 4) 広義の長期安定株主
 - 5) 個人株主の議決権行使

[Ⅲ] まとめ 今後のガバナンス経営と株主政策

1. OECDと東証(09年度版)のガバナンスガイドラインを主軸

2. 株主価値重視型のガバナンスを進化させる

3. 株主様から望まれる経営情報、成長シナリオを詳細に適時開示

4. 委員会型はガバナンス経営の決め手
 - 1) 議案が減少し、対話型の株主総会が可能に
 - 2) 透明性が高く、説明しやすいガバナンス体制
 - 3) 総会終了後の株主説明会(東京以外)の開催
 - 4) ニーズに合わせて内容充実した招集通知

5. 株主政策
 - 1) 主役は個人を含めた投資家
 - 2) 株主政策は、投資家のニーズ発掘から
 - 3) コーポレートガバナンスの主軸は委員会会社形態で維持
 - 4) 時代の流れを先取りする主役探し

[参考資料] エーザイ株式会社 2011年度定時株主総会招集ご通知
http://www.eisai.co.jp/pdf/ir/stock/inv99_all.pdf

(以 上)